

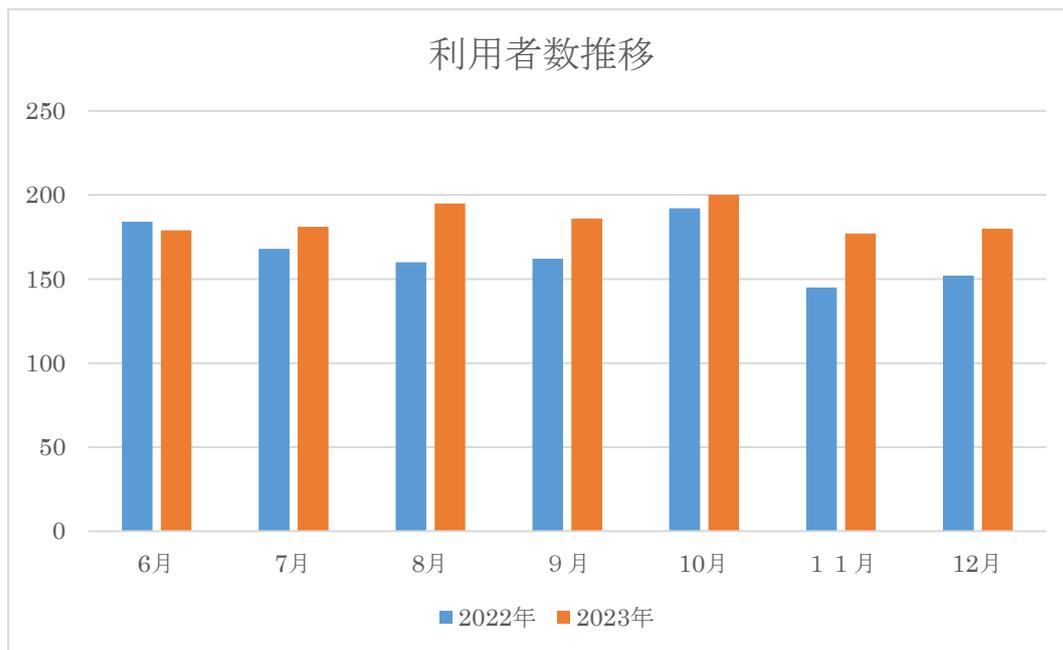
デイサービスゆいま〜る戸水運営推進会議報告書

開催日時：令和6年2月1日（木）14:00～15:00

会場：ゆいま〜る戸水

参加者：K様（ご利用者）、Y様（ご利用者家族）、M様（戸水地区民生委員）、U様（金沢市地域包括支援センターくらつき）、立川（ゆいま〜る戸水）

1. ゆいま〜るからの活動報告



契約者数 19名 12月の一日平均利用者数 7.2名

最高齢 90歳 最若年 69歳 平均年齢 83.0歳 平均要介護度 2.1

送迎範囲 御供田町、近岡町、金石、松村、木越、鳴和町、桂町、長田

お迎え時間 8時30分から11時00分 お送り時間 15時45分から16時30分

スタッフ数 8名(正職員 4名 パート 4名)

管理者 1名 生活相談員 1名 介護職員 5名 機能訓練指導員(看護師) 1名

管理者は社会福祉士資格保有

介護職員 3名は介護福祉士資格保有 生活相談員は介護福祉士資格保有

認知症介護基礎研修修了 2名 他介護支援専門員保有者 2名 看護師 1名

地震による建物等の被害

4年前の改築時に耐震工事をしっかりと行ったこともあり、屋根瓦が数枚ずれたことと、庭の石灯籠が倒れたこと、また室内の食器棚内の皿が床に落ちて割れた程度で大きな損傷はなかった。

ここ半年の間の主な外出先

道の駅千里浜、卯辰山、道の駅倶利伽羅、倶利伽羅鳳凰殿、道の駅めぐみ白山、キゴ山、稲葉山、道の駅しらやまさん、宝達志水町銀杏並木など

地域活動(2023 年度後半)

講師派遣 石川県認知症介護実践者研修 石川県高齢者虐待現任者標準研修、
宝達志水町要介護施設従事者等による高齢者虐待防止研修
石川県老人保健施設協議会施設ケアマネージャー部会研修会
相談員派遣 なし

事故 ヒヤリハット(2023 年 6 月～2023 年 12 月まで)

転倒 3 件 車の接触 2 件 調理時の切り傷 3 件

当面の課題

かかわりの質の向上と利用者数の増加

戸水が開設してすでに 4 年経っているが、稼働率は 6 割ほどの状況が続いている。4 年経てば、周知が十分ではないということだけではなく、それ以上にゆいま～るの持つ強み、良さというものが利用されている方たち、担当のケアマネなどに十分には感じられていないとも考えられる。認知症専門の通所介護として、認知症を抱えている人たちへのより深い理解と、適切な生活支援、自宅での暮らしも視野に入れたかかわりなど、あらためてしっかりと考え、実践していくことで、認知症が進行しても本人、家族が望む限り、自宅で暮らし続けることができるための一つの資源として、またゆいま～るに紹介すれば安心とケアマネに思ってもらえるようなかかわりを目に見える形にすることで、利用者数の増加にもつなげていきたい。

防災対策

今回の震災で、あらため BCP(事業継続計画)の重要性が認識できたことから、策定のみにとどまらず、備品、災害時の連絡体制や安否確認の方法についてもしっかりと考えていきたい。また建物は耐震工事が入っているが、家具等の固定についても見直していきたい。

能登から金沢の親族のところに一時的避難してきたり、移住してきた人の利用受け入れについても積極的に行っていきたい。

新型コロナウイルス感染対策

コロナについては流行が始まっており、米泉や三口でも感染者が出ている。米泉ではスタッフ、利用者合わせて 6 名が感染したが、幸いいずれも軽症で済んでいる。三口は家庭内感染の利用者が 1 名入院されたが、他の人への感染の広がりはなかった。戸水については今のところコロナもインフルも感染者は出ていないが、いつ出てもおかしくはない状況であり、しっかりと感染対策と早めの対応を行っていききたい。

地域活動

オレンジカフェやチームオレンジなどの活動にできるだけ協力し、認知症を抱えながら暮らす方たちの暮らしを支える一助となるとともに、講師派遣などにも協力し、地域における認知症の理解や情報の提供を行っていききたい。またホームページやブログなども活用していききたい。

2. 参加者より

Kさま（ご利用者）

私は週2回通っています。不満など感じることはありません。家からも近くて送り迎えしていただき感謝しています。改善してほしいところは今のところありません。

Yさま（ご利用者家族）

うちの母は家では買い物も行かないと言うし着替えもしない。調理なども全くしていない。でもゆいま～るへは楽しみにしているし、いろいろやっているみたいです。ありがたいと思っています。

M様（戸水地区民生委員）

利用者数増加についてはケアマネさんをお願いしたらいいと思います。町会では昨年4月に見守り隊を結成して高齢者世帯への除雪や資源ごみなどの回収を行っています。また年に1回日曜日に防災訓練も行っているの、何かゆいま～ると一緒に取り組めたらと思います。今年の震災では町会の避難所でもあるダイワハウスへ避難された方もいました。ゆいま～るでも防災訓練を行われていると思うが、町会の防災訓練にも参加されるとつながりができ、お互い協力し合えるのではないかと思います。

U様（地域包括支援センターくらつき）

ご利用者に避難していただく時は、言葉で伝えたり、伝えられたりすることが苦手な方や、歩くことが困難な方がいると思う。また緊急時は気持ちも混乱しそれが皆さんに連鎖することも考えられます。出来るだけ冷静になることが大切だと思います。そして水戸様からのご意見のとおり、可能であれば、地域の避難訓練などに参加され、地域との関係性が深まっていけばゆいま～るの事も知っていただけるだろうし、お互い協力し合えるのではないかと思います。

立川（ゆいま～る戸水）

みなさま、この度はお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。ご利用者やご家族からはありがたいお言葉をいただきました。嬉しい限りでございます。これから、より一層ご利用者一人一人が「ゆいま～るが楽しい」と満足してくださいますよう、その人の得意な事や楽しみなどを一緒に考えて叶えられるよう努め、安心してご自宅で生活していただけるようなかわりを行っていこうと思います。利用者数増加につきましてはこうしたことについて実践を積み重ね、地域のケアマ

ネジャーさん達からの信頼を得られるよう努めていきます。

地域との関係性につきましては、戸水地区の見守り隊や年1回の避難訓練などに参加させていただき、交流を深めたいと思いますし、地域での会合などにもお誘いいただけるならゆいま〜るの活動など知っていただけるよう積極的に参加していきたいと思います。みなさま貴重なご意見をありがとうございました。